

三陽機器

新型ツインモア-を新発売

アーム式 草刈機 ZMシリーズ3機種

作業効率がアップ

三陽機器(寺前公平社長・岡山県浅口郡里庄町新庄3858)はこのほど、トラクタに乗ったままレバー操作だけでツインモア-をトラクタの車幅内にほぼ格納できる新型トラクタ用アーム式草刈機「ツインモア-ZMシリーズ」を開発、新発売した。「草刈り作業時に電柱などの障害物を乗ったままで回避したい」「道路走行時にツインモア-をトラクタ車幅内に格納したい」などのユーザーの声に応えたもので、これにより、作業効率が格段にアップするとともに、より安全なトラクタ走行が可能になっている。



寺前社長

新型ツインモア-は、アーム先端にモア-を装着しており、農道からガードレール越しに法面の草刈りが行える。作業リ

ーチはZM-3708(適用トラクタ28~50馬力)が3.6m、ZM-3709(35~50馬力)が3.7m、ZM45(50~90馬力)が4.5mと長く、幅の広い法面や水路越しの草刈り作業が楽に、しかも効率よくでき

るようになってい

る。作業ポジションはトラクタの運転席の「右サイド」「右後方」「後方」「左後方」の4ポジションあり、「左後方」ポジションでは道路の左側走行をしながら草刈り作業ができるので、対向車のすれ違いが安全快適に行える。

モア-部は、作業幅800mmのZM-3708用と作業幅900mmのZM-3709、同45用の2型式を準備している。ZM-3708用はセットピンを解除することで、モア-部が折りたため2面刈り作業が可能

になる。ZM-3709、同45用は平面刈り専用モア-で、高トルクのツイ

ン油圧モーターを採用、高能率の草刈り作業を実現している。小売価格は税込みでZM-3708、同3709が116万3400円、同45が122万1000円

【主な特徴】
1)モア-部とアームは単格納で作業効率が向上しモア-部とアームは、トラクタに乗ったままレバー操作だけでトラクタの車幅内にほぼ格納が可能で、草刈り作業時の障害物回避が容易に行



新発売のツインモア-ZMシリーズ

トラクタの車幅内に格納可能(格納時後)㊸、作業効率が格段にアップ(格納時横)㊹

- 2)ロングアームで多様な草刈りシーンに対応
水平リーチはZM-37シリーズで最大3.7m(装着トラクタによってはストップパ-の解除で4.2mも可能)。ZM-45では、4.5m。ガードレール越しの法面の草刈りをはじめ、幅の広い法面や用水路を挟んだ反対側の草刈りが可能。下傾斜、上傾斜など様々な法面形状に対応可能。
- 3)草刈り作業位置は4ポジション。
- 4)安全性・操作性に優れたコントロール
- ①操作はフィンガータッチのワンレバー方式。ツインモア-専用開発したワンレバージョイスティックの採用により、モア-部とアームの操作はフィンガータッチで自由自在に行え長時間作業も快適。コントロールはマグネットにより、作業者の操作しやすい位置に取付けが可能。オートストップ機構。モア-駆動スイッチがONの状態でも、トラクタエンジンの再始動時に、モア-が回
- らないオートストップ機構を採用した安全設計。
- 5)新設計モア-で作業性能アップ。①ZM-3708はモア-の作業幅は800mmでセットピン解除により2面刈りも可能。刈刃は上下2段の4枚刃で細かく草を切断
- ②ZM-3709・ZM-45はモア-の作業幅は900mmで平面刈り専用。刈刃は上下2段の4枚刃。高トルクのツイン油圧モーターにより、草刈り性能が格段にアップ。モア-前輪を両サイドと中央の3輪にすることで、モア-の直進性・安定性・地面への追従性がさらに向上し、高能率作業を実現。
- 6)好評のフローティングリンクを採用。
- 7)独自開発の流量制御弁付電磁バルブの採用により、モア-の回転数を一定に保ち安定した草刈り作業が可能。
- 8)トラクタへの簡単着脱。トラクタ3点リンクへの装着は、日農工S、Lヒッチに対応。